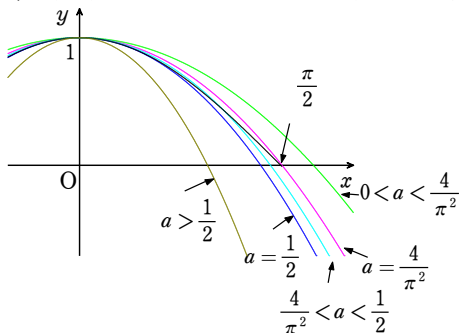


$-\frac{\pi}{2} \leq x \leq \frac{\pi}{2}$ における $\cos x + \frac{\sqrt{3}}{4}x^2$ の最大値を求めよ. ただし, $\pi > 3.1$ および $\sqrt{3} > 1.7$ が成り立つことは証明なしに用いてよい.

今年(2013年)の京都大学の入試問題. いわゆる典型的な関数ではないが, 微分法(第2次導関数まで)を用いる扱いは受験生には手慣れたもののはずである.

■ さて, 出題者は何を考えたのかということをや推してみる.



$y_1 = \cos x$ (上のグラフ黒線) と $y_2 = 1 - ax^2$ ($a > 0$) という 2 つの関数を $|x| \leq \frac{\pi}{2}$ で考えると, 2 つの関数のグラフは上に凸で, グラフが酷似している (上のグラフの y_2 については, 見やすくするために制限を省いて描いた).

この 2 つのグラフは原点 O で接し, (よく知られたように) $a = \frac{1}{2}$ が 1 つの境界値で, $a \geq \frac{1}{2}$ のとき, つねに $y_1 \geq y_2$ (等号は $x = 0$ のみで成立) である. $0 < a < \frac{1}{2}$ のとき, y_1 と y_2 のグラフの上下関係が逆転する場合がある. ということは, $x \neq 0$ で $y_1 = y_2$ となる場合がある. ただし, $|x| \leq \frac{\pi}{2}$ の範囲があるから, $y_1 = y_2$ となる x がその範囲にあるかどうかだが, $y_1 = \cos x = 0$ となる点 $(\pm \frac{\pi}{2}, 0)$ を $y_2 = 1 - ax^2$ が通るとき $a = \frac{4}{\pi^2}$ であり, これがそれを分ける境界値である.

$y = y_1 - y_2 = \cos x + ax^2 - 1$ は, $a > \frac{4}{\pi^2}$ のとき $x = \pm \frac{\pi}{2}$ で最大となり, $0 < a < \frac{4}{\pi^2}$ のとき $x = 0$ で最大となる.

したがって, この問題は x^2 の係数 $\frac{\sqrt{3}}{4}$ と $\frac{4}{\pi^2}$ の大小比較に帰着し, $\sqrt{3}\pi^2 > 1.7 \times 3.1^2 = 16.3 \dots > 4^2$ より $\frac{\sqrt{3}}{4} > \frac{4}{\pi^2}$ であるから, $\cos x + \frac{\sqrt{3}}{4}x^2$ は $x = \pm \frac{\pi}{2}$ で最大となる.

■ このように, $y_1 = \cos x$ と $y_2 = 1 - ax^2$ ($a > 0$) という 2 つの関数のグラフを $|x| \leq \frac{\pi}{2}$ で考えて, この問題はできたと考えられるが, 違うだろうか.

とすれば, $y = \cos x + ax^2$ ($|x| \leq \frac{\pi}{2}$) の最大値を, $a (> 0)$ の値による場合分けで求めさせる方がよかつたのではなからうか.

それとも, $\sqrt{3}\pi^2 > 1.7 \times 3.1^2 = 16.3 \dots > 4^2$ より $\frac{\sqrt{3}}{4} > \frac{4}{\pi^2}$ といった不等式処理能力もみたいと考えたのだろうか(たいしたことではないと思うのだが...).